

## 株式会社フェローテック(匝瑳市)

～さらなる進化をめざして～

株式会社フェローテックは、東京に本社を構え、匝瑳市の千葉工場において、磁性流体とその応用製品である真空シールなどの製造をしており、エレクトロニクス産業や自動車産業など、くらしを支える製品の製造を行っています。

こちらの会社には、ちばテク旭校のNC機械加工科を平成28年度に修了した宮内さんが勤務しています。今回は、千葉工場において、宮内さん、製造部長の田鎖さんと機器製造課長の櫻庭さんにお話を伺うことができました。

宮内さんの業務は、半導体や太陽電池などの製造装置に使用される真空シールにあるシャフト、ハウジングと呼ばれる部品の加工を担当しており、宮内さんからは、「まだまだ失敗することが多く落ち込むこともあるが、先輩に教えてもらいながら、成功するまで何度もチャレンジをしています。機械加工がきれいに速くできるような技能を身に付けたいです。」と、話してくれました。

また、機械加工の魅力を伺うと、「自分の思い通りの形に加工できることが魅力的で、工作機械を操作している姿がカッコいいです。」と、話してくれました。

田鎖さんからは、「宮内さんは、旋盤が好きで、一生懸命仕事に励んでくれています。まずは技能を身に付けて、徐々に成長してから後輩に教えられるようになってほしいです。海外にも行っているいろいろなことを学んでもらいたい。怪我だけはしないように気をつけて仕事に励んでほしいです。」と、応援の言葉をいただき、櫻庭さんからは、「業務も徐々にレベルが上がり、大変だと思う。若いときにたくさんのご経験して、業務を担当できるようになってほしい。くじけることもあると思うが、成長の糧にして元気に頑張ってください。」と、あたたかいエールを送ってくれました。

最後に、宮内さんにNC機械加工科の感想と今後の目標を伺うと、「NC機械加工科では、機械加工の基礎が学ぶことができました。先生に親身なって教えてもらい、デュアルシステム訓練も活用できたことで自信を持つことができました。入社後は、技能検定にチャレンジして機械加工の2級を合格することができたので、今度は1級を目指したい。仕事では、失敗をゼロにしたいです。」と、力強く話してくれました。



上の写真 左から機器製造課長の櫻庭さん、宮内さん、製造部長の田鎖さん

左下の写真 株式会社フェローテックの外観

右下の写真 宮内さんが加工している真空シール

## 株式会社共楽園緑化土木(東金市)

～個々のスキルを高め、職人集団を目指しています～

株式会社共楽園緑化土木は、大正14年に創業して以来、樹木の生産・販売から始まり、現在は、造園・土木・舗装等の工事及び維持管理を請け負っています。長い歴史の中で培った知識と技術をもとに顧客が納得できる造園工事を行っています。

こちらの会社には、ちばテク我孫子校の造園科を平成29年度に修了した埴谷さんが勤務しています。そこで、埴谷さんと取締役営業部長の榎原さんにお話を伺うことができました。

埴谷さんの主な業務は、いろいろな作業現場に赴き、公園や植栽の管理などを2～3人で作業を行うことが多く、今は、成田山境内及び成田山公園内で松の手入れを中心に仕事をしています。

埴谷さんに仕事の話を伺うと、「造園工事などは、やはり夏の暑さが厳しいです。でも、体を動かすことが好きで、学ぶことも多くて楽しく仕事ができています。先輩も仕事になると厳しいですが、普段は優しくして面白い人が多いです。」と、話をしてくれて、チームワークの良さが伝わってきました。

造園科にいた当時のことを伺うと、「造園科の実習は、楽しかったです。自分の納得いくまで作業に取り組みました。技能五輪の全国大会にも出場することができて、自分のレベルを知るきっかけになりました。」と、技能五輪出場が貴重な経験になっていることが覗えました。

取締役営業部長の榎原さんに、埴谷さんの仕事ぶりを伺うと、「積極的に動いて、学ぼうとする意識が高いです。作業の準備などもきちんとやってくれています。体も大きく体力もあり、会社に貢献しています。体調を崩さないように頑張ってください。」と、おっしゃっていました。

将来の夢を伺うと、「今はまだ、先輩に言われたことをやるだけで精一杯ですが、まだまだ、やりたいことはたくさんあります。一日も早く、仕事を何でも任せられるようになり、お客さまに納得のいくものを提供できるようになりたいです。また、入社1年目で技能検定2級を取得することができました。今後は、さらに上の検定を目指していくつもりです。」と、力強い言葉をいただきました。



上の写真 左から取締役営業部長の榎原さん、埴谷さん

左下の写真 株式会社共楽園緑化土木の外観

右下の写真 剪定をしている埴谷さん